

曲がり付き吸引カテーテルの使用例

塩見一成

●はじめに

日本呼吸療法医学会の気管吸引ガイドライン¹⁾によると、吸引カテーテルを挿入する深さはその先端が気管分岐に当たらない位置までとされている。しかし咳嗽反射が低下している症例では効果的な咳嗽が得られないため、気管に挿入した吸引カテーテルでは十分に吸引ができないことがある。今回、胸部レントゲン写真で左肺の著明な透過性低下を認めた症例に対し、曲がり付き吸引カテーテルを用いた気管支吸引を行い、左肺に貯留した分泌物を効果的に吸引できたので紹介する。

●症例紹介

症例は急性腹症で当病院の救命センターに搬入された91歳の女性で、胆嚢炎、急性汎発性腹膜炎の診断にて直ちに胆嚢摘出術が施行され、術後、集中治療室にて人工呼吸器管理となった。聴診上左肺野に断続性ラ音が続くが、第4病日目に持続鎮静薬を中止し、補助調節換気モードからCPAPモード、FiO₂ 0.4、PEEP 5 cmH₂Oにウィーニングした。咳嗽が弱い体位ドレナージによる排痰援助に努めるが、第6病日目には、聴診上左肺野の断続性ラ音が著明となり、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)が90%を維持できなくなった。胸部レントゲン写真(写真1)で左肺の著しい透過性低下を認めたため、積極的に左肺の分泌物を吸引する目的で吸引カテーテルをストレートタイプから曲がり付きタイプに変更し、選択的気管支吸引を試みた。

その結果、深夜には呼吸音が改善し始め、SpO₂も98%に上昇し、第7病日目の胸部レントゲン写真(写真2)では左肺の透過性も顕著に改善した。



写真1 6病日目



写真2 7病日目

●考察

気管吸引のガイドライン¹⁾では、気管支損傷などの合併症を防ぐため、吸引カテーテルを挿入する深さは

その先端が気管分岐に当たらない位置と記されている。しかしその先端を気管支まで挿入することは禁絶とされており、またWood²⁾が述べているように、積極的な体位ドレナージや十分な加湿にも関わらず分泌物が吸引できなければ、吸引カテーテルを気管分岐部よりさらに深く挿入することも必要であると考えられる。

盲目的にストレートの吸引カテーテルを挿入した場合、右主気管支は左主気管支より分岐角が小さくまた径も太いため、吸引カテーテルは右主気管支に入りやすい³⁾。したがって左主気管支にストレートの吸引カテーテルを挿入しようとする、吸引操作の回数が増え、気管支損傷の危険性も高くなる。そのためこのような症例では選択的な吸引カテーテルの挿入が必要となる。このことについて久保田ら³⁾は曲がり付き吸引カテーテルの有用性を述べ、曲がり付き吸引カテーテルの先端を右に向けて挿入すると右主気管支に入る確率はほぼ90%、反対にその先端を左に向けて挿入すると左主気管支に入る確率もほぼ90%になると報告している。

今回、我々は出血など気管支壁損傷を疑わせる症状もなく、久保田らの方法で効果的に左主気管支吸引を行うことができた。しかしこの方法は常に気管支損傷の危険を伴うため、事前に気管支吸引の必要性を評価することが必要であり、気管支吸引が必要と判断したならば曲がり付き吸引カテーテルを用い、愛護的かつ素早く吸引しなければならない。

●まとめ

吸引操作は人工呼吸患者にとって不可欠なケアであるが、心身ともに大きな苦痛となるだけでなく合併症の危険を伴う。したがって挿入する吸引カテーテルの深さは気管吸引ガイドラインに示されているように気管分岐部手前とするべきであるが、咳嗽が弱く左肺に分泌物が貯留するような症例では、曲がり付き吸引カテーテルを用いた選択的気管支吸引を、合併症に十分配慮し、愛護的に行うことが重要であると考えられる。

参考文献

- 1) 日本呼吸療法医学会コメディカル推進委員会 気管吸引ガイドライン作成ワーキンググループ: 気管吸引のガイドライン (成人で人工気道を有する患者のための). 人工呼吸. 2008; 25: 48-59.
- 2) Wood CJ: Endotracheal suctioning: a literature review. Intensive Crit Care Nurs. 1998; 14: 124-136.
- 3) Kubota Y, Magaribuchi T, Toyoda Y, et al: Selective bronchial suctioning in the adult using a curve-tipped catheter with a guide mark. Crit Care Med. 1982; 10: 767-769.

閉鎖型気管内吸引カテーテル

トラックケア-72

72時間 使用可能！

従来の24時間使用トラックケアと比較して、
微生物コロニーが89%減少※

- 2つのピープシールにより、カテーテルの外側の汚れを一層きれいに除去
- フラッパーバルブが洗浄液の垂れこみを防止

※BALLARD *CRITICAL CARE PRODUCTS TRACH CARE*72 MICROBIOLOGY REPORT より



院内感染対策に…

必要物品の削減に…



販売名：バラード トラックケア- プロダクツ 医療機器承認番号：21000BZY00332000

製造販売元

CMI

Partner in Health Care

センチュリーメディカル株式会社

本社 〒141-8588 東京都品川区大崎1-11-2
TEL (03) 3491-1785 FAX (03) 3491-1857

大阪支店 (06) 6263-3767 名古屋営業所 (052) 220-3660
福岡営業所 (092) 752-5628 仙台営業所 (022) 213-0040
<http://www.cmi.co.jp>

N07012